

長崎県公立大学法人の平成 29 事業年度に係る業務の実績に関する評価結果

申し立ての内容	申し立てへの対応
<p>【評価項目】</p> <p>2 項目別評価</p> <p>(1) 大学の教育研究等の質の向上</p> <p>① 教育に関する目標</p> <p>【原文】(法人評価委員会による評価結果案)</p> <p>○中期計画〔3-1〕の年度計画 評価委員会の評価「Ⅱ」(法人の評価「Ⅲ」)</p> <p>学生に卒業要件を早期に達成させる目標(3年修了次までに9割以上の学生に修得)について、語学力の向上など5割を超えた学科がある一方で、目標値の9割と大きな乖離がある学科もあり、順調に実施したと評価することは困難であり、評価を「Ⅱ」に変更する。</p> <p>【申立理由】(法人からの意見申し立て)</p> <p>1. 中期計画【3-1】について</p> <p>本中期計画は、各学科の特定の必修科目について修得目標を立てて取り組んでいるものである。その特定の必修科目は、外部試験の合格等が単位取得の条件となっている。</p> <p>※特定科目の単位取得要件、配当年次については別紙1参照</p> <p>2. 進級・卒業の流れ</p> <p>本学の授業プログラムにおいて、2年次から3年次に進級するための進級要件を設定しており、卒業要件達成に向け、段階的に専門知識や語学力を養う構成となっている。</p> <p>平成29年度実績で報告した学生は、2年次の学生であり、進級要件達成に向けた授業を履修し、各学科においても学修支援を行った。卒業要件達成に向けた授業科目は3年次中心に配科しており、平成29年度においては、卒業要件に関連する科目を履修していない。</p>	<p>【対応】(法人評価委員会による評価結果)</p> <p>評価結果(案)を以下のとおり一部変更。</p> <p>○中期計画〔3-1〕の年度評価 評価委員会の評価「Ⅱ」(法人の評価「Ⅲ」)</p> <p>学生が卒業要件を早期に達成する目標(3年修了までに9割以上の学生が修得)については、法人の平成29年度の活動状況や年次別の学生の達成状況をもとに評価した。その結果、法人側の全学部を挙げての努力は認める。しかし、法人から示された資料及び説明等を総合的に勘案しても、平成30年度の目標達成に向けての道程等を確認することができず、平成29年度の進捗状況では、平成30年度中の目標達成が難しいと判断し、順調に実施していると評価することは困難であり、評価を「Ⅱ」に変更する。</p>

※平成 29 年度時点の状況に応じた学修支援は、別紙 2 参照

※ここで言う進級要件、卒業要件とは、単位取得要件となる外部試験の合格等のことのみを指す。

3. 2 年次生の進級要件達成状況

進級要件となっている資格の取得状況は別紙 3 のとおりとなっており、全体で 97% の学生が進級要件を達成している。

受領した評価結果において、当該項目の評価としては、「Ⅱ 年度計画を十分に実施できていない」となっているが、法人としては、ほぼ 100% に近い学生が進級要件を達成している状況であり、問題なく計画どおり、卒業要件達成に向けての支援を行っている判断している。

4. 全体意見

評価理由として「語学力の向上などで 5 割を超えた学科がある一方で、目標値の 9 割と大きな乖離がある学科もあり、順調に実施したと評価することは困難」とある。前述したとおり、平成 29 年度で対象となるのは、2 年次の学生である。2 年次の学生は、2 年次から 3 年次に進級する要件達成に向けて鋭意努力している時点であり、最終的な卒業要件の達成を目標として取り組んでいる時点ではない。

それにも関わらず、最終的な卒業要件の高い達成率と比較され、十分でない判断されることについては、本学のカリキュラムを勘案していない評価結果と言える。

2 年次から 3 年次への進級要件の高い達成率からして、本学では順調な過程を経ていると判断している。大学のカリキュラムの特性をご理解いただき、適切な評価をお願いしたい。

進級・卒業要件及び設定科目

学部名	学科名	進級要件			試験実施日	卒業要件			試験実施日	
		要件	科目名	配当年次		要件	科目名	配当年次		
経営学部	経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	6月、8月、 11月、2月 (佐世保)	簿記2級	い ず れ か	簿記演習Ⅰ	3前	6月、11月、 2月(佐世保)
						FP2級		ファイナンシャルプランニング演習	3後	5月、9月、 1月(長崎)
						販売士2級		販売・経営管理演習	3後	7月、2月 (佐世保)
						日経テスト430点		新聞で学ぶ経済Ⅲ	3前	6月、8月、 11月、2月 (佐世保)
	(アカデミックコース)	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	6月、8月、 11月、2月 (佐世保)	税理士試験1科目	い ず れ か	簿記演習Ⅱ	1後	8月 (福岡)
		簿記2級	簿記演習Ⅰ	1前	6月、11月、 2月(佐世保)	簿記1級				6月、11月 (佐世保)
					簿記能力検定上級	7月、2月(福 岡、佐賀)				
	国際経営学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	6月、8月、 11月、2月 (佐世保)	TOEIC730点		英語実践演習	1前～2後	年10回 (佐世保)
		TOEIC600点	英語実践演習	1前～2後	年10回 (佐世保)					
	地域創造学部	公共政策学科	日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	6月、8月、 11月、2月 (佐世保)	日経テスト430点	い ず れ か	新聞で学ぶ経済Ⅲ	3①
実践経済学科		日経テスト300点	新聞で学ぶ経済Ⅱ	2前	ニュース時事能力検定2級		新聞で学ぶ経済Ⅲ			
国際社会学部	国際社会学科	英語選択：TOEIC600点	英語実践演習	1前～3後	年11回 (長崎)	英語選択：TOEIC730点		英語実践演習	1前～3後	年11回 (長崎)
		中国語選択：中国語検定3級	中国語	1前～3後	6月、11月、 3月(長崎)	中国語選択：中国語検定2級		中国語	1前～3後	6月、11月、 3月(長崎)
情報システム学部	情報システム学科	ITパスポート	情報技術演習	1前・後	ひと月に 2、3回 (長崎)	基本情報技術者試験		情報システム演習	1・2前・後	4月、10月 (長崎)
	情報セキュリティ学科	ITパスポート	情報技術演習	1前・後		情報セキュリティ検定試験		情報セキュリティ演習	1・2前・後	

進級・卒業要件達成に向けた各学科での支援体制（平成 29 年度）

○経営学科

- 計画的かつ早期に進級・卒業要件を達成するよう、面談記録簿を作成した。
- 「教養セミナー」「新聞で学ぶ経済Ⅰ」「簿記演習Ⅰ・Ⅱ」、「基礎演習」において個別面談指導を行い、学科で情報共有して進捗状況を管理した。
- FD 研修会を行い、個別指導のレベルアップを図った。

○国際経営学科

- 1 年前期までに TOEIC600 点取得を目標に、学習支援を実施した。
- 受験状況や取得点数について、試験毎に確認を行い、個別指導を行った。
- TOEIC の点数が低く、伸びない学生に対しては、演習担当教員による指導を行い、その後も改善がない場合は学科長と英語担当教員が面談し、学習方法や生活面での改善指導を行った。
- さらに、必要な場合は保護者に連絡を取り、保護者との面談を行った。

○公共政策学科

- 学科独自でアンケートを実施し、講義改善のための情報収集を行った。
- 複数回の試験を受験するも進級要件に達していない学生については、教員による面談を行い、複数回の学習指導を行った。
- FD 研修会や担当者会議を通じ、「新聞で学ぶ経済Ⅱ」の授業内容の検討を行った。
- ニュース時事能力検定を選択する学生のため、日経 TEST に絞って授業を行っている「新聞で学ぶ経済Ⅱ」について、クラス分けを行うこととした。

○実践経済学科

- 日経 TEST 対策のため、「新聞で学ぶ経済Ⅱ」において 2 回の大規模な模擬テスト及び 6 回の小テストを実施した。また、担当教員が随時意見交換を行い、授業内容の改善に努めた。
- FD 研修会において、新聞の読み方の効果的な教授法や日経 TEST の特徴を取り上げ、情報共有及び授業運営方法の改善を行った。
- FD 研修会や担当者会議において、授業運営のノウハウや日経 TEST の受験結果の分析等について積極的に情報共有を行い、授業方法の改善について検討した。
- 「新聞を学ぶ経済Ⅱ」以外にも、新聞をテーマに取り上げたり、ゼミ教員や教務委員の教員が個別に指導したり、専門科目の授業中に積極的に時事問題を取り上げるなどして、学生の意識向上に努めた。

○国際社会学科

- TOEIC の対策にあたる外部講師と本学の英語担当教員が定期的に学習の進捗状況や対策について協議し、授業に反映させた。
- 10月～12月には、全8回にわたる TOEIC 対策講座を実施した。
- 中国語選択者に対しては、11月に全4回の特別講座を実施した。

○情報システム学科

- 学科の教員間で、学生の資格取得情報について情報共有を行った。
- 関連授業である「情報システム演習」の履修を促した。
- 関連授業において、グループワークや反転学習等の手法を取り入れることにより、学習効果を高めた。
- 早期に卒業要件を達成させるべく、有効な指導が行き渡るようなシステム構築を行っている。

○情報セキュリティ学科

- 早期に進級要件を達成した学生に対して、卒業要件に対する試験対策ならびに受験を促した。
- ガイダンスにおいて、アンケートを実施して合格状況の把握に努め、受験計画を明確にするよう指導した。

学科	コース等	在籍者数 (A)	進級要件となる資格取得者数					進級要件資格取得者数計 (B)	進級要件資格取得割合(B/A)
			日経TEST300点以上	日商簿記2級	TOEIC600点以上	中国語検定3級	ITパスポート		
経営学科		139	137					137	99%
	アカウンティングコース	2	2	2				2	100%
国際経営学科		57	55		57			55	96%
公共政策学科		126	125					125	99%
実践経済学科		132	132					132	100%
国際社会学科	英語選択者	59			50			50	85%
	中国語選択者	3				3		3	100%
情報システム学科		42					42	42	100%
情報セキュリティ学科		42					39	39	93%
合計		602	-	-	-	-	-	585	97%

※在籍者について、平成30年3月31日までの退学者や転学科者を除く。

※通常の授業、学修を通して進級要件に達しなかった学生は、実質6名のみである。